

「何のためにそれを行うのか」

新執行部スタート

会長 鶴岡 裕亮



会員の先生方におかれましては、平素より本連盟活動にご理解とご尽力をたまわり、厚く感謝申し上げます。

連盟執行部も6月17日に開催されました第48回定時評議員会にて令和2年度の決算などの3議案を可決承認、そしてもう一期、会長職のご承認を頂き、速やかに役員人事を行い、スタートいたしました。

コロナウイルス感染症の感染拡大が始まり、県歯と共に会員の診療室経営の助けになるよう、厚労省・経産省・総理官邸、県知事をはじめとする県行政・自民党神奈川県連などに働きかけました。また歯科医師によるPCR検査、そしてワクチン接種に関しては、パンデミックという国難の中、少しでも手助けできればとの考えで関係各所に折衝し、実現に向け活動させていただきました。

また、自民党神奈川県議会議員団、公明党県議会議員団のヒアリングには、県歯の予算要望書を携え折衝してまいりました。

さらに5年ごとに県民の健康維持のため見直すとされている神奈川県歯科条例の改定が来年行われます。それに向けても県歯地域医療部とプロジェクトチームを作り準備してまいります。

国民、県民の健康増進のため、公益社団法人として、事業計画を元にいかに予算を獲得し、それぞれの事業として展開していくことが重要

であることはいうまでもございません。県歯事業をより円滑にすすめるべく政治力を持って渉外を担当する役割が連盟組織であることを改めてご認識頂ければ幸いです。

政治活動をするための連盟組織ですが、歯科医師会会員で構成されていることは言うまでもありません。峻別とは「厳しく区別する」とあります。では何を峻別すべきなのか。それは政治資金規正法に対するお金の流れ、歯科医師会会員より連盟会費としてお預かりした原資をもとに事業活動する。その会計を厳しく区別する事です。

「政治活動に興味がない」「任意入会なので」「支持政党が異なる」などの理由で連盟未入会である方々がいらっしゃいます。歯科医師会会員が当たり前のように連盟の会員である組織実現に向けて努めてまいりますが、そのためには、会員の皆様、地域歯科医師会、歯科医師連盟のご理解ご協力があってこそ実現していくと思います。

秋には衆議院選挙、そして来年7月には我々の組織代表を国政に送るべく参議院議員選挙がございます。県歯連盟として推薦する候補者を当選させるべく活動してまいります。その選挙活動の際にはお願いすることばかりですが、「何のためにそれを行うのか」を今一度再確認していただければ幸いです。

一体化に向け松井県歯会長熱く語る 鶴岡会長を県歯役員に

皆様には日ごろから会務にご協力いただき、心より御礼申し上げます。今年度は鶴岡会長に理事として執行部に参加いただき県歯と県歯連盟の一体化に取り組んでいきたいと考えています。

連盟は歯科医師会の掲げる理念と政策を実現するために政治活動を行う政治団体と定義されています。県歯と県歯連盟は地域住民の歯科保健の充実のために限りある行政の予算の中で県行政担当と県歯がともに協議し、必要なら立法や予算会議で議員が我々の主張を理解したうえで協力する、三権分立の中では不可欠な作業であります。ネットの発展の中で表も裏もなく、あらゆる情報が開示される社会となり、献金には無縁な少ない予算の中での活動です。

県歯が公益法人に移行した時点での一体化は峻別の論点から疑問を持たれる会員もおおいだと思いますが、両組織の活動に峻別すべき差異はありません。

我々の理念と政策を実現させるためには現在の三権分立の制度の中で議員の理解なくしてありえませ

ん。そして行政の担当も予算獲得に必要なその後押しを求めていることから、公益法人として県民の歯科

保健を守るために県歯と県歯連盟の一体化を進めることといたしました。もちろん会計は分離いたします。

組織同士の一体化ですので今後必要な作業が多くあることも理解しております。会員全員で知恵を出し合い、理解を深めれば決して不可能ではないと信じております。皆様のご理解ご協力よろしくお願いいたします。



公益社団法人 神奈川県歯科医師会
会長 松井 克之

鶴岡会長・関監事再選

6月17日（木）午後6時より県歯会館にて定時評議員会が開催された。コロナ禍にあり書面による議決権の行使48名、出席13名にて執り行われた。宮坂副会長の開会の辞の後、宮坂和弘評議員（川崎市）と松本富三評議員（藤沢市）が議事録署名人に選定された。

鶴岡会長は2年間の任期を振り返り、連盟活動と選挙協力に感謝した。また、新型コロナウイルスへの対応が県歯と連携して行えたこと、これからは県歯の役員に入り、より充実した連盟活動を行う決意をしたこと、この秋に予定される衆院選並びに来年行われる参院選への協力をお願いし、挨拶とした。

続いて、県歯松井克之会長の挨拶、島村大参議院議員の国政報告があった。次に川越常務理事による庶務及び事業等の報告が行われた。日歯連盟報告では、コロナ禍とはいえ決議の方法が簡略され、十分な議論が行なわれず決議されることに対し、本県より質問した。会員に理解しやすい対応を期待する。

～第48回定時評議員会 議案全て可決承認～

議事に入り3つの議案が上程された。

第1号議案：神奈川県歯科医師連盟規約の一部改正に関する件

第2号議案：神奈川県歯科医師連盟一般会計令和2年度収入支出決算に関する件

第3号議案：神奈川県歯科医師連盟令和2年度賃借対照表、財産目録に関する件

全ての議案が可決承認された。

続いて神奈川県歯科医師連盟会長・監事選挙について高橋清治選管委員長（茅ヶ崎寒川）より報告があり、候補者定数のため無投票にて鶴岡裕亮会長と関泰忠監事の再任が決定した。

最後に徳永副会長の閉会の辞で終了となった。



協力に感謝する会長



国政報告する島村議員

神奈川県歯科医師連盟役員名簿

〈令和3年7月1日～令和5年6月30日〉



会長 鶴岡裕亮
(横浜市/中区)



副会長 宮坂宗行
(茅ヶ崎寒川)



副会長 徳永寛司
(大和綾瀬)



副会長 長崎康俊
(横浜市/鶴見区)



副会長 西山 潔
(横浜市/神奈川区)



副会長 小川 淳
(川崎市/高津区)



理事長 川越元久
(川崎市/高津区)



副理事長 檀上 修
(鎌倉市)



常務理事 北野道廣
(横浜市/青葉区)



常務理事 山田剛久
(茅ヶ崎寒川)



常務理事 小池軍平
(横須賀市)



常務理事 柴田 豊
(厚木市)



常務理事 皆藤訓男
(相模原市/南区)



常務理事 高倉康介
(横浜市/中区)



常務理事 板井隆信
(川崎市/中原区)



監事 関 泰忠
(横浜市/中区)



監事 佐藤政夫
(税理士)



顧問 原 慶治
(横須賀市)



顧問 中村昌人
(横浜市/港北区)



顧問 富田 篤
(藤沢市)



顧問弁護士 末石倫大
(弁護士)



相談役 椎谷久仁男
(川崎市/多摩区)



相談役 大木 哲
(相模原市)



相談役 大嶋基司
(川崎市/多摩区)



相談役 加藤木健
(横浜市/西区)



相談役 島村 大
(横浜市/保土ヶ谷区)



相談役 萩原鉄也
(秦野伊勢原)

かながわ自民党歯科保健・医療推進議員連盟役員 <令和3年7月5日現在> (通称：オーラルフレイル対策議員連盟)

会 長	桐生 秀昭			幹 事	河本 文雄	あらい絹世	高橋栄一郎
副 会 長	堀江 則之	牧島 功	松田 良昭		新堀 史明	芥川 薫	山口美津夫
	持田 文男	土井りゅうすけ	森 正明	事務局長	いそもと桂太郎		
幹 事 長	小川久仁子			事務局次長	原 聡祐	田中 信次	
副幹事長	嶋村ただし	しきだ博昭		会 計	永田てるじ		
幹 事	杉山 信雄	長田 進治	内田みほこ	監 事	竹内 英明	梅沢 裕之	

島村大神奈川県歯科医師後援会役員 <令和3年7月1日～令和5年6月30日>

代 表	鶴岡 裕亮 (神奈川県歯科医師連盟会長)	幹 事	鹿郷 満保 (横浜市/保土ヶ谷区)
副 代 表	椎野喜一郎 (小田原)	同	小笠原美由紀 (横浜市/港北区)
同	杉山 紀子 (横浜市/栄区)	同	白井 仁之 (横浜市/緑区)
同	嶋田 潤一 (相模原市/南区)	同	久保田 正 (横浜市/青葉区)
同	原 秀一 (横須賀市)	同	宮坂 和弘 (川崎市/幸区)
同	徳永 寛司 (神奈川県歯科医師連盟副会長)	同	杉之内俊郎 (川崎市/川崎区)
同	長崎 康俊 (神奈川県歯科医師連盟副会長)	同	松本 富三 (藤沢市)
同	西山 潔 (神奈川県歯科医師連盟副会長)	同	河野 孝栄 (小田原)
同	小川 淳 (神奈川県歯科医師連盟副会長)	同	今宮 圭太 (大和綾瀬)
同	北野 道廣 (神奈川県歯科医師連盟常務理事)	顧 問	中村 昌人 (神奈川県歯科医師連盟顧問)
同	檀上 修 (神奈川県歯科医師連盟副理事長)	同	富田 篤 (神奈川県歯科医師連盟顧問)
幹 事 長	川越 元久 (神奈川県歯科医師連盟理事長)	同	加藤木 健 (神奈川県歯科医師連盟相談役)
副幹事長	松本 純 (川崎市/川崎区)	同	関 泰忠 (神奈川県歯科医師連盟監事)
同	小池 軍平 (神奈川県歯科医師連盟常務理事)		

日本歯科医師連盟 評議員 予備評議員選出報告

評議員	鶴岡 裕亮	予備評議員	宮坂 宗行
	徳永 寛司		長崎 康俊
	川越 元久		西山 潔

連盟組織力強化委員会 <令和3年7月1日～令和5年6月30日>

委 員	村田 拓也 (横浜市/青葉区)	特別委員	今宮 圭太 (神奈川県歯科医師会常任理事)
同	續 宏之 (横浜市/港北区)	同	北野 道廣 (神奈川県歯科医師連盟常務理事)
同	海野 倫明 (川崎市/幸区)	同	小池 軍平 (神奈川県歯科医師連盟常務理事)
同	穴倉 俊介 (川崎市/高津区)	【担当役員】	
同	中田 伸一 (川崎市/麻生区)	副 会 長	小川 淳
同	佐藤 宏憲 (厚木市)	理 事 長	川越 元久
		常務理事	坂井 隆信

情報調査委員会 <令和3年7月1日～令和5年6月30日>

委 員	荻原 光貴 (横浜市/中区)	特別委員	
同	佐久間啓文 (横浜市/西区)	同	大持 充 (神奈川県歯科医師会常任理事)
同	大西 明人 (横浜市/神奈川区)	同	檀上 修 (神奈川県歯科医師連盟副理事長)
同	小野清一郎 (横浜市/泉区)	同	山田 剛久 (神奈川県歯科医師連盟常務理事)
同	盛田 健司 (海老名市)	【担当役員】	
同	添田 博充 (秦野伊勢原)	副 会 長	宮坂 宗行
		理 事 長	川越 元久
		常務理事	高倉 康介

広報委員会 <令和3年7月1日～令和5年6月30日>

委 員 長	金井 久弥 (川崎市/川崎区)	【担当役員】	
委 員	飛田 暁 (横浜市/旭区)	副 会 長	長崎 康俊
同	原 宣道 (鎌倉市)	理 事 長	川越 元久
		常務理事	山田 剛久

「国民皆歯科健診実現議連」発足



参議院議員
日本歯科医師連盟顧問
次期組織代表

山田 宏

6月16日、自民党議員156名の参加のもと「国民皆歯科健診実現議連」が発足し、会長に古屋圭司代議士、事務局長に私、そして最高顧問に伊吹前衆議院議長、安倍前総理、尾辻元厚労大臣（国民歯科問題議連会長）が就任しました。

本議連の目的は、これまで5年連続「骨太の方針」

に記載された「生涯を通じた切れ目のない歯科健診」を実現し、国民の健康寿命を伸ばし、「国民皆保険制度」を維持していこうというもので、島村大先生も加わり2年間の発起人勉強会を踏まえて発足しました。

今後議連としては、自民党政調会の下に「国民皆歯科健診検討チーム」の設置を要請し、来年には「健康日本21」第3次計画に「成人歯科健診」の拡大と「生涯を通じた歯科健診」の法文化を実現し、将来的には労働安全衛生法を改正し「一般労働者の健診項目」に歯科を加えようとするものです。

私の公約でもある「国民皆歯科健診」の1日も早い実現に向け、全力で頑張りますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

議長に青山繁君 副議長に嶋田潤一君

～第49回臨時評議員会にて

可決承認～

9月9日（木）午後6時より県歯会館地下大会議室にて臨時評議員会が開催された。川越理事長の司会で、書面による議決権の行使37名、出席21名にて執り行われた。宮坂副会長の開会の辞の後、中島信也評議員（川崎市）が仮議長として選出され、議事に入った。

第1号議案：神奈川県歯科医師連盟評議員会議長・副議長の選出に関する件

原案通り、議長に青山繁評議員（横浜市）、副議長に嶋田潤一評議員（相模原市）が選出された。また、宮坂和弘評議員（川崎市）と高熊達郎評議員（厚木市）が議事録署名人に選定された。鶴岡

会長挨拶に続いて、県歯松井克之会長の挨拶、役員紹介、日歯連盟報告の後、島村大参議院議員の時局講演会となった。

時局講演会では、コロナ禍での政局の変化・歯科関連の概算要求の理解の仕方・外来等感染症対策実施加算（+5点）はこれからどうなるか・今回の診療報酬改定の特徴と対策等、タイムリーかつ大変興味深いトピックスを聞くことができた。

コロナ禍では慣例が変わり、状況に応じた確で迅速な対応を迫られることが多くなったと感じた。最後に長崎副会長の閉会の辞で、終了となった。

横歯連盟大奮闘

～横浜市長選

おこのぎ候補支援するも一歩及ばず～

任期満了による、横浜市長選挙が、8月8日告示、22日投開票の日程で行われ、横浜市歯科医師連盟は、横浜市歯科医師会・神奈川県歯科医師連盟の協力を得て、国務大臣（国家公安委員長）・衆議院議員の職を辞し、横浜への熱い思いで立候補したおこのぎ八郎氏を全員一丸となり応援した。

2週間に及ぶ選挙戦であったが、役員一同駅頭や街頭演説の際のビラ配り、そして会員宛の電話掛けなど最大限の支援をしたが残念な結果となった。ご協力いただいた役員、各地区有志の皆様には心より感謝申し上げる次第である。

今回の選挙で培った団結力が、今後の活動に必ずや活かされることを確信した。

副会長 西山 潔



最終日に石破茂元幹事長と候補者を囲んで

使うための条件緩和を ～骨太の方針2021だけで満足するな～

参議院議員 島村 大



新型コロナウイルス感染症の拡大という前例のない事態と向き合いつつも、従前からの感染予防の徹底に加え診療所の感染拡大防止対策を実施し、安心・安全な歯科医療の提供に日々尽力くださっている皆様にあらためて敬意を表すとともに、PCR検査及びワクチン接種への同志の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

さて、健康寿命の延伸や健康格差の縮小を図るうえで、口腔の健康は全身の健康につながることから、政府でも、6月に閣議決定された「骨太の方針2021」において、生涯を通じた切れ目のない歯科健診等の歯科口腔保健の充実に取り組むことが盛り込まれました。また、令和4年度予算の概算要求（8月26日）においても、歯科関連の事業を拡充することとされています。

政府や国会において文言や数字が「示される」ことは、とても大きなことです。後々の根拠となに残るからです。それが「前年より増えた」となればなおさらです。

一方で私は、示されるだけでは意味がないと考えています。骨太の文字数に応じて予算が増えたとしても、果たしてどれほどの予算が実際に使われたのか。使うための条件が厳しすぎれば手を挙げる人はいないでしょう。執行率を見て初めて、皆様の現場、診療室にとって使い勝手のよい制度だったかどうかを計ることができるのです。容易なことではありませんが、これが

私の現場目線です。

今年の8月終盤は、例年どおり自民党本部で概算要求関係の部会が開かれたほか、衆参の委員会（閉会中審査）も頻繁に開かれました。また、通常であれば多くの議員が上京するのに合わせ各議員連盟も開催されるのですが、私が事務局長を務める自民党の「国民歯科問題議員連盟」は緊急事態宣言のため中止となりました。衆参の会員議員が地元の歯科医師会などとのコミュニケーションに活用できるよう、関係資料を340名に配布したところです。

私の政治活動の原動力は、神奈川の現場のお声です。これからも、歯科医師の国会議員として、県歯連盟会員として、皆様とともに歩んで参ります。どうぞ変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



参議院厚生労働委員会

ただいま、鋭意編集中！

今年度の編集メンバーをご紹介します。新しい仲間も入れて、連盟活動を会員の皆様に誤解なくお伝えできるように、全力で編集に勤しんでおります。

皆様よろしくお願いいたします。



神奈川県歯科医師連盟 ホームページ

<http://www.kdrenmei2011.jp>

神歯連盟

検索



神奈川県歯科医師連盟 フェイスブック

<https://b-m.facebook.com/神奈川県歯科医師連盟-162911550500918/>

神奈川県歯科医師連盟フェイスブック

検索

